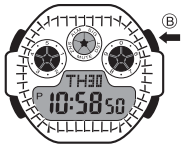
Operation Guide 3025

CASIO

ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑボタンを押すと、ライトが点灯します。

➡暗いところでも、表示を見ることができます。



ご注意

- 直射日光下では、ライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にⒷボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどの電子音が鳴ると、点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

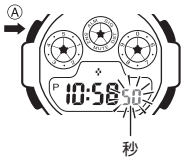
■ライト点灯時間の切り替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約1秒間押します

➡秒が点滅します。

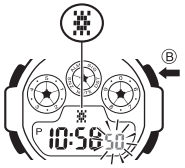


2. 点灯時間を選ぶ

Ⓑボタンを押します

➡Ⓑボタンを押すごとに約1.5秒間と約3秒間が切り替わります。

※ ⁘ マーク＝約1.5秒間
▩ マーク＝約3秒間



3. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

操作音について

モード切替時などに鳴る操作音のON／OFFを切り替えることができます。

■操作音のON／OFF設定

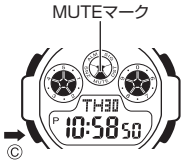
セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

Ⓒボタンを約3秒間押します

➡確認音が鳴り、操作音のON／OFFが切り替わります。

※操作音をOFFにしているときは、MUTEマークが点灯します。

※操作音がOFFでも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。



液晶表示について

Aタイプの液晶表示で説明しております。Bタイプ（反転液晶）をお使いの場合は、Aタイプで各インジケーター（マーク）がオンのときに点灯するところが白くなると置き換えてご覧ください。

<Aタイプ>



<Bタイプ>

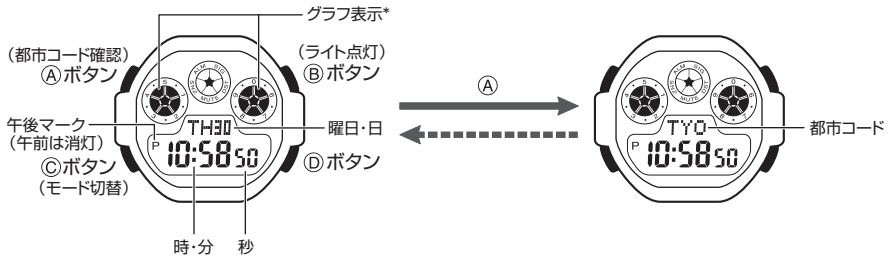


操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。

※アラームモードのまま2～3分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード



★ホームタイム都市設定の確認

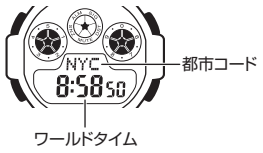
Ⓐボタンを押すと、「曜日・日」が「都市コード」に切り替わった後、約1秒で「曜日・日」に戻ります。

★曜日の見方

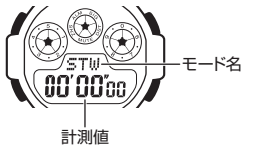
SU：日　MO：月　TU：火　WE：水　TH：木　FR：金　SA：土

* グラフ表示は1秒ごとに点灯／消灯を繰り返します。

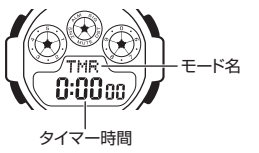
ワールドタイムモード



ストップウオッチモード



タイマーモード



アラームモード



ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界48都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※ホームタイム（基本時刻）を24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

ご注意

ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

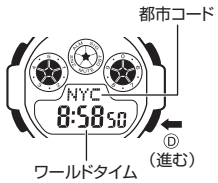
* 確認については「操作のしくみと表示の見方」参照、セットについては「時刻・カレンダーの合わせ方」参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進みます。
※Ⓓ ボタンを押し続けると早送りします。



■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します



➡サマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。
※ホームタイムで設定している都市をサマータイムONにしたときは、ホームタイム（基本時刻）もサマータイムONになります。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11	パゴパゴ	IST	+2	イスタンブール
HNL	−10	ホノルル	CAI	+2	カイロ
ANC	−9	アンカレジ	JRS	+2	エルサレム
YVR	−8	バンクーバー	MOW	+3	モスクワ
SFO	−8	サンフランシスコ	JED	+3	ジェッダ
LAX	−8	ロサンゼルス	THR	+3.5	テヘラン
DEN	−7	デンバー	DXB	+4	ドバイ
MEX	−6	メキシコシティ	KBL	+4.5	カブール
CHI	−6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
MIA	−5	マイアミ	MLE	+5	マーレ
NYC	−5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	−4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
YYT	−3.5	セントジョンズ	RGN	+6.5	ヤンゴン
RIO	−3	リオデジャネイロ	BKK	+7	バンコク
RAI	−1	プライア	SIN	+8	シンガポール
LIS	+0	リスボン	HKG	+8	香港
LON	+0	ロンドン	BJS	+8	北京
BCN	+1	バルセロナ	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
MIL	+1	ミラノ	ADL	+9.5	アデレード
ROM	+1	ローマ	GUM	+10	グアム
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
JNB	+2	ヨハネスブルグ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2005年6月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒸボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。

■タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

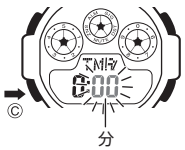
➡「時」が点滅します。



2. セット箇所を選ぶ

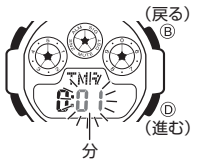
Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順2.～3.の操作を繰り返して、タイマー時間をセットします。

※タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を"0:00"にします。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します



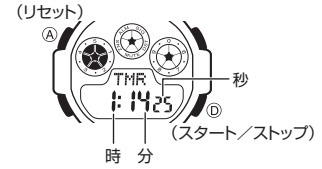
➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※計測は1秒単位で行ないます。
※グラフ表示は計測値に連動して、点灯／消灯を繰り返します。



★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい©ボタンを押し、アラームモードにします。

■アラームについて

●通常アラーム（AL1 ～ AL4）

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

●スヌーズアラーム（SNZ）

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。
なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

■アラーム時刻のセット

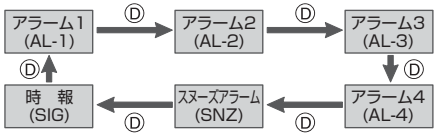
1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。



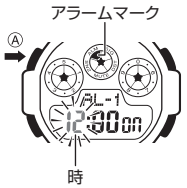


2. セット状態にする

Ⓐボタンを約1秒間押します

➡「時」が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。



3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

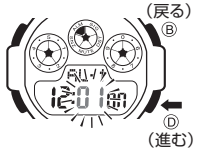


4. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



手順3.～4.の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※ホームタイム（基本時刻）を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■アラームの ON／OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

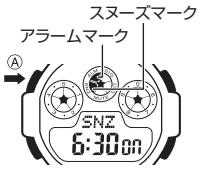
➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、アラームの ON／OFF が切り替わります。

※ アラームマークが点灯しているときが ON となり、アラームが鳴ります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

<アラーム1表示>



<スヌーズアラーム表示>



■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※スヌーズアラームのときは、約 5 分後に再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。

※スヌーズアラーム機能中のときに以下の操作を行ないますと、スヌーズアラーム機能が中断されます。
- ●スヌーズアラームを OFF に切り替えたとき。
- ●スヌーズアラームをセット状態にしたとき。
- ●時刻モードでセット状態にしたとき。

■モニターアラーム

アラームモードで Ⓓ ボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

■時報について

毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

■時報の ON／OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、時報表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、時報の ON／OFF が切り替わります。

※ 時報マークが点灯しているときが ON となり、時報が鳴ります。

<時報表示>



ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい©ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

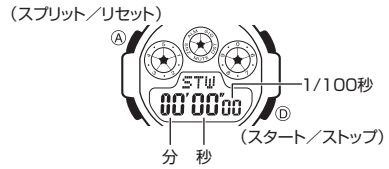
■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。

※グラフ表示は計測値に連動して、点灯／消灯を繰り返します。



★計測中に Ⓐ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（“SPL”表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後 Ⓐ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

<積算計測>
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓐ スプリット → Ⓐ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

<スプリット表示中>



●1・2 着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

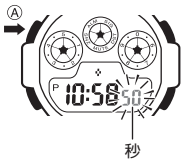
電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡「秒」が点滅します。



2. **時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します**

➡「00 秒」からスタートします。

※ 秒が 00～29 のときは切り捨てられ、30～59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります（時報は「時報サービス 117 番」が便利です）。



3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

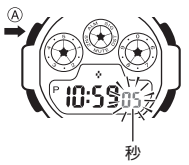
※ 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

■「時刻・カレンダー」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡「秒」が点滅します。



2. ホームタイム都市を選ぶ

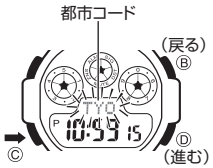
Ⓒ ボタンを押します

➡都市コードが点滅します。

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります（「都市コード一覧」参照）。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



例）
東京（日本）の時刻に合わせるときは、都市コードを “TYO” に設定します。

3. サマータイム（DST）の ON／OFF を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡DST マークと On または OF が点滅します。



Ⓓ ボタンを押します

➡ON／OFF が切り替わります。

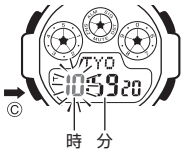
※ OF ＝サマータイム OFF（通常時間）
On ＝サマータイム ON（夏時間）

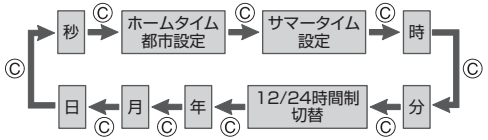
※ サマータイムを ON にすると、通常の時刻より 1 時間早まり、時刻モードとアラームモードで DST マークが点灯します（サマータイムについては「サマータイム（DST）について」参照）。

4. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒ ボタンを押します**

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

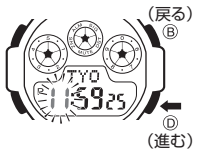




b. **Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します**

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



a.～b. の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※12/24 時間制切替は、Ⓓ ボタンを押すごとに 12 時間制表示（12H）と 24 時間制表示（24H）が切り替わります。

※「時」のセットのとき、午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

※「年」は 2000～2099 年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。